

# 今月の一言

## キーワード：人間は考える<sup>あし</sup>葦である

「人間は考える葦である」これは17世紀のフランスの哲学者で物理学者、数学者だったパスカルの言葉である。正吉は正にこの考える葦なのだ。考えに考えた末、後に大正製薬所を株式会社として大躍進させる「特約株主制度」を考案している。

著書：上原正吉とその妻小枝 著者：仲 俊二郎より抜粋

### 「人間は考える葦である」

意味は、“人間は自然の中でもっとも弱い一本の葦みたいなものだが、それは考えるという能力をもった存在だ”ということ。葦は自然界の中で大変弱く、少しの風が吹くと簡単にしなり、風の前に屈して曲がるが、風が去るとまた元のように立ち上がる。人間とはこのように、自然や運命の暴威に対し無力であるが、柔軟性があるってそれに従順に従い、そして暴威をくぐり抜けても屈せず、また元のように自らの姿で立ち上がる。そして何よりも「考えることができる」すなわち「精神を持つ」ことで、暴威として自然の力を無自覚に揮う風に較べて遥かに賢明で優れた存在である。

大きい壁にぶち当たったり苦しんだりした時に、考えて考えて考え抜くことで素晴らしい意見や答えが出ます。

みんなで考え抜こう！

2012年8月24日

さいのう とおる

追伸：連日暑い日が続きますが、8月23日は処暑です。処暑とは、暑さが終わるという意味です。まだ、昼間は暑い日が続きますが、朝夕は涼しい風が吹き渡り、気持ちのよい時期です。夏バテに注意！